

事務事業名		猿石線他道路改良事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	生活道路の整備				01	08	02	03	34
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 27 年度～ 31 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	都市整備部建設課				A 政策事業 (B) 施設整備				
	課長名	新沼克彦				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	土木係	電話			0192-27-3111	E 一般(A～D以外)			
担当者	熊谷孝弥	内線	313							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
【概要】 本路線は、猪川町善蔵敷地域を通るその他市道であり、幅員が3.0m未満の区間が大部分を占めていることから、車両の通行が困難であり、緊急時における消防及び救急活動に支障をきたしている状況である。そのため、地域住民の利便性向上及び緊急時における防災基盤整備のため、道路改良を行うものである。 【規模】 延長600m 幅員4.0～5.0m 【計画】 平成27年度 測量設計 平成28年度 埋蔵文化財調査 用地買収・補償業務 平成29年度 工事開始 平成31年度 工事完了				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	176,855			
		都道府県支出金								
		地方債	115,300							
		その他								
		一般財源	10,845							
		事業費計(A)	303,000							
		人件費	正規職員従事人数	10						
			延べ業務時間	2,240						
			人件費計(B)	8,960						
			トータルコスト(A)+(B)	311,960						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
埋蔵文化財調査		ア	埋蔵文化財調査
用地買収、補償業務		イ	用地買収面積
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	施工延長
埋蔵文化財調査		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	
市道猿石線		単位	
市道利用者		カ	計画総延長
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	主たる利用者数
市道が拡幅改良される。		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
利便性が向上する。		名称	
		単位	
		サ	道路改良延長
		シ	整備率
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	9,460	55,142	52,143	30,055	30,055	
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	6,000	34,600	31,500	21,600	21,600	
		その他	千円						
		一般財源	千円	315	2,137	3,491	2,451	2,451	
	事業費計(A)		千円	15,775	91,879	87,134	54,106	54,106	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	320	320	320	640	640	
		人件費計(B)	千円	1,280	1,280	1,280	2,560	2,560	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	17,055	93,159	88,414	56,666	56,666
⑤ 活動指標		ア	m ²	0	950	800	0	0	
		イ	m ²	0	1287	366	1661	0	
		ウ	m	0	0	0	200	400	
⑥ 対象指標		カ	m	600	600	600	600	600	
		キ	人	120	120	120	120	120	
		ク		-	-	-	-	-	
⑦ 成果指標		サ	m	0	0	0	200	600	
		シ	%	0	0	0	33.3	100	
		ス		-	-	-	-	-	

事務事業ID	1432	事務事業名	猿石線他道路改良事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
未舗装か道路幅員が狭いため、地域より道路拡幅の要望を受け、平成22年度から事業を開始していたが、震災の影響により中断し、平成27年度から再開した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
地域の理解が進み、協力的になった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
地域から早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	改良整備により、安全・快適に利用できるため、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象区間600mは、全区間未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	十分な幅員で改良整備を行う道路計画となっていることから、これ以上の成果向上の余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	交通の安全性に欠き、快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	必要最小限の費用で実施することから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	現状維持で継続して事業を実施する。	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続して事業を実施する。